

学 校 便 り 琢 磨

令和6年度 第2号 R6.4.16 三豊市立詫間小学校

1 学期学級委員任命式

4月15日(月)。全校児童が体育館に集合して「1学期学級委員任命式」が行われました。1年生は、2学期からなので、2年生以上13クラス26人の学級委員さんに任命書をお渡ししました。

以下は、1学期の学級委員に選ばれた皆さん(50音順)です。クラスのリーダーとして「クラスに心地よい風」を吹かせてくれることを大いに期待しています。どうぞ、1学期間、よろしくお願いいたします。

6年松組	小林 篤到 さん	詫間 萌奈 さん
6年竹組	岸本 和花 さん	徳重 遥斗 さん
6年梅組	杉村 芽依 さん	横下 蓮 さん
5年松組	百々 勇太 さん	藤川 紅葉 さん
5年竹組	喜田 唯彩 さん	前川 智輝 さん
5年梅組	内田 愛菜 さん	十河 蓮志 さん
4年松組	磯崎 日快 さん	宮本 琉杜 さん
4年竹組	桑田 和馬 さん	小林和香奈 さん
4年梅組	富山 杏 さん	水口偉三郎 さん
3年松組	高尾 宙良 さん	辻 柚帆 さん
3年竹組	名越 望来 さん	藤田 眺翔 さん
2年松組	植岡 莉央 さん	風間 大地 さん
2年竹組	関子ことは さん	藤田真旺人 さん



衣替えについて

本校には、「衣替え」の時期はありません。気温や体調に合わせて、また、個人の感じ方によって、冬服、合服、夏服を着用ください。つまり、一年中、時期を問わずに、学生服、上はり、カッターシャツ、ブラウス、長袖のポロシャツ、ベスト、半袖のカッターシャツ、ポロシャツを選んで着用いただくということです。ただし、学校行事等で、服装を統一することがあります。その場合は、担任からお知らせしますのでご協力をお願いいたします。

また、暑い時期(概ね7月上旬～10月中下旬)は、熱中症予防対策として体操服やTシャツ登校、体育以外の授業での着用可の措置を行います。寒い時期(概ね12月上旬～3月中旬)は、感染症予防対策として換気を徹底しますので、教室での防寒着の着用可の措置も行います。これらの措置の開始・終了時期及び内容については、学校便り等でお知らせします。

※ 衣替えとは関係ありませんが、下靴・上靴のかかとを踏んで履いている児童には、安全面や物を大切に等々の観点から指導させていただきます。ご家庭でのご理解・ご協力もよろしくお願いいたします。

年間行事予定についてのお知らせ

PTA 総会の資料に掲載して全保護者の皆様にお知らせする他、学校のホームページにも現時点での年間行事予定をアップしております。今後、変更の可能性もあることをご了承いただき、ご活用ください。

私の勤務した学校 その1

(三野町立大見小学校 昭和61年4月～平成2年3月)

山梨県の大学を卒業してすぐに、私は実家から5kmくらいの所にある大見小学校に新採教員として赴任しました。「津島神社」が校区にある学校です。今思えば、その後39年間も続く教員生活のスタートだったわけです。22歳の終わり頃でした。赴任から1か月くらいは、まだ、自分の自動車は持っていなかったもので、50ccの原動機付き自転車（原付バイク）で学校に通いました。

今も大見小学校はあります。校舎も当時と一緒です。ただ、平成18年に「平成の大合併」により「三豊市」が誕生しましたので、その頃の学校名は「三野町立大見小学校」だったのです。

教員1年目は、なかなか大変でした。以前の「独り言」にも書いたことがあるので知っている方も多いと思いますが、最初の1年は学級担任ではなくて、体育専科（体育の授業ばかりをする教員）でした。一応、文学部卒業の国語教育専門だったのですが…。

朝、学校に行くと他の教員は、教室で朝の会をしますが、私は職員室でいます。そして、1時間目が始まると、運動場か体育館か、夏場はプールに行くのです。そこから給食までは職員室に帰ってくることはありませんでした。4月中くらいは、外でいても気持ちがいいのですが、5月の連休明けくらいからは暑くなります。そして、5月の終わり頃、プール開きがあると、放課後までは、プール以外のどこにも行かない日々が続きます。1日6時間のうち、1時間くらいは空き時間があるのですが、そのためだけに着替えるのも面倒なので、プールの日よけの下で休んでいるという感じでした。給食の時も、水着の上にタオルを巻いて食べるが多いため、上半身は裸かTシャツ。体は真っ黒に日焼けしていました。夏休みに、大学時代の友人に会った時、私を見て誰も気付いてくれなかった程です。放課後は、先輩の男性の教員に水泳の特別練習をお願いし、私は一人で陸上の特別練習を見ていました。中学、高校と陸上部だったので、子どもと一緒に走ったり跳んだりしながら、陸上指導をしていました。当時は、練習は「暗くなるまで」というのが常識で（時々、暗くなってもという日もあった）、夏場は、夜の7時頃まで練習をしていました。職員室に帰って来るのが、夜の7時頃、それから、事務仕事をするわけです。ただ、学級担任ではなかったもので、あまり事務仕事も多くはありませんでした。そうそう、これだけは言っておかなければなりません。今のようにパソコンやワープロは全くありませんでした。書類は、全て手書きでした。（学びのたよりも、学年だよりも、お知らせのプリントも…）

この年に、実は、記念すべき出来事が起こります。それは今もある「日清食品カップ全国小学生陸上競技交流大会」の第2回大会だったと思うのですが、大見小学校の6年生の女の子が100m走で出場したのです。全国大会に出場するのは学校で彼女一人だけです。香川県の予選会が終わると、他の陸上のメンバーは水泳の特別練習に切り換えたため、彼女と二人で練習をすることが多くなったのです。暗くなるまで、私は、指導者としてだけでなく、練習相手としても、その子と二人でスタートダッシュを繰り返し練習したものでした。彼女は12歳、私は23歳でしたので年の差はわずか11歳。先生と言うよりお兄さんといった感じだったと思います。私は、彼女のおかげで、やりがいというか、自分の仕事が楽しいと感じたのでした。担任する子どもがいなかった寂しさから解放され、「仕事に前向きに取り組む」ように変わることができたのです。

国立競技場での全国大会は、香川県予選のタイムでは決勝進出も夢ではないような感じでしたが、当日、彼女は体調が悪く予選敗退となってしまいました。当時、香川県の選手や教員は選手団として全員一緒（合宿状態）に行動していました。ご両親や校長先生まで、わざわざ東京に応援に駆けつけてくださったので、私は申し訳ない気持ちでいっぱいでした。あこがれの国立競技場のスタンドで、予選レースを終えて戻った彼女と二人で、悔しくて涙を流しました。

その彼女も、今は50歳になっています。卒業以来、年賀状だけは欠かしません。彼女の結婚式には「小学校時代の恩師」として招待されました。それ以来、会ってはいませんが…。

そんな、教員1年目が終わり、次の年は6年生の担任、そして5年生、6年生の担任をさせていただいて、大見小学校4年間の勤務の後、今度は全く知り合いもない、住んだこともない高松市の街の真ん中の小学校に転勤することになるのです。